

## 平成 30 年度 四国支部技術研修会 実施報告書

- 1 視 察 先 : ①国際放送機器展 (Inter BEE 2018)  
②NTT 東日本 光 HOUSE YOKOHAMA
- 2 研修期間 : 2018 年 11 月 15 日 (木) ~16 日 (金) (2 日間)
- 3 参加者 : 4 名 (3 社)

### ①11/15(木) 13:00 ~ 国際放送機器展 (Inter BEE 2018) 視察 (幕張メッセ)

平成 30 年度四国支部調査研究事業の一環として、「国際放送機器展 (Inter BEE 2018) 技術研修会」を実施した。

今年で 54 回を迎える Inter BEE 2018 は、過去最多であった昨年を更に上回る出展者数 1,152 社・団体、来場者数 40,839 人 (3 日間) と大変盛況であった。Inter BEE は、2019 年までの 3 ヶ年で、コンテンツを中核とした「つくる(制作)」「おくる(伝送)」「うける(体験)」の領域を網羅する、近未来のメディアコミュニケーションとエンターテインメントの総合イベントへの発展を目指している。新 4K8K 衛星放送開始を目前に、新たな映像表現を支える 4K8K 制作の最新技術や、今年放送サービスを開始する 9 社の各チャンネルの番組やコンテンツ、新 4K8K 衛星放送の受信方法の紹介など、新 4K8K 衛星放送にまつわる制作技術・放送サービス・受信システムに幅広く接することができた。特に 8K の映像美には圧倒された。12 月からの本放送が大変楽しみである。

#### <参加者の感想>

- ・4K8K のコンテンツ制作に関する技術が中心であったが、地上デジタル送信設備の更新時期も迫っていることから、例年よりも送信機の展示が多く見られた。昨年までは NHK 仕様の送信機であったが、今回は民放仕様の物が展示されており、各メーカーが民放に目を向けていることを印象づけられた。また、送信設備の技術的な進歩は無いが、メンテナンス性や信頼性の向上、省電力化がはかられていた。携帯電話網を利用した現場支援技術も展示されており、現場作業員への確かな指示を送る、または、現場の状況を即時把握できる環境を整えることは技術的には容易であることがわかった。プライベート LTE 網等を利用した閉鎖網での現場支援を提案しているブースもあり、企業情報の漏洩を考慮する必要性があることから有効であると感じた。
- ・4K8K 機器類 (カメラ・送信系・受信系) に関しては、最新機器がそろい目新しく参考になった。音響のコーナーでは、目新しいものは無く例年通りであった。リーダー電子からまだ 4K8K 対応の測定器が出来ていない事が、残念だった。
- ・Microsoft の Videoindexer についての講演やドローンでの映像撮影などの講演がとても印象に残った。Videoindexer は AI を使用し映像から情報を抜き取れる技術であり、自分が思っていた以上の精度や性能だったので興味がわいた。今回の Inter BEE でドローン

について講演や出展している企業も見受けられた。その中でも講演で紹介されていたマイクロドローンの類のものが性能向上していけば業務にも活用できるようになるのではないかと感じた。

- ・ **Microsoft** のセミナーで AI というものが印象に残った。近日、よく AI という言葉を耳にする機会が増えてきているが、実際 AI とはどのようなものなのかというのは考えたことがなかった。最近身近に AI を使用しているものが多く普及しているようで、掃除機や、エアコン、自動車の自動運転などと大変身近なものになっていることがわかった。この AI の技術をつかって **Microsoft** が新しいサービスに挑戦していることを紹介していた。AI を使用することでどんどんと便利な世の中になっていくなと感じた。



## ②11/16 (金) 9:30~11:00 NTT 東日本 光 HOUSE YOKOHAMA 視察

技術研修先として NTT 東日本 光 HOUSE YOKOHAMA を訪問した。

光 HOUSE は、NTT 東日本の ICT ソリューションを体感できるショールームとなっている。専任のコミュニケーターから、導入事例などをアットホームな雰囲気ですばやく紹介していただいた。VR によるデータセンターの案内や、デジタルサイネージ、AI ロボットを利用したカフェのデモ、リモートデスクトップサービスによる在宅勤務など、実際に装置に触れながら具体的に体験できた。CATV に関わる者としては、宅内配線が全く目立たない透明な光ケーブルに大変興味を持った。最先端の技術に触れる貴重な体験を得ることができた。

### <参加者の感想>

- ・ NTT の光回線を利用した様々なサービスについて説明があったが、インフラをどのようなサービスにつなげるかが肝になっており、店舗サービスの向上や働き方改革につなげ

るためのアイデアに工夫が見られた。また、農業支援サービスは経験や勘に依存していたものを数値化することで適切な対処ができる点で農業従事者の負担軽減につながるサービスであると感じた。

- NTT の事業内容の分かりやすい、良くまとまった展示場であると感じた。宅内工事用、透明被覆光ケーブルは、実用的な製品であると感じた。非常時災害対策等、BCP 関連に対する事柄が、これからの販路、商売？・・・
- 各フロアごとに様々なサービスや技術について知ることができ全体的に興味を持てた。Wifi や家庭でのブロードバンドサービスの詳細、在宅業務で便利なサービスなど、今後の業務にも活かせるサービスや技術があることを知れてよかった。
- 光 HOUSE では、新しい働き方のシステムや、街づくりなどこれからのシステムを体感させてもらった。特に印象的だったのが新しいオフィス（働き方改革）のショールームだった。妊婦の方や、子育てなどと会社に行きたくても行けない方もたくさんいると思う。今回、体験したシステムを活用することで、家庭でも時間がある時に仕事ができるようになるといった利点があると感じた。しかし、そういった利点もあるなかで、データの安全性や家庭での仕事の進行度などさまざまな問題点もあると感じた。



以上